

大館市教育委員会会議録

日 時 令和5年1月27日（金）
午後3時30分
場 所 大館市立中央公民館
第1、2研修室

大 館 市 教 育 委 員 会

大館市教育委員会会議録

1	開会の日時 及び場所	日 時 場 所	令和5年1月27日（金） 大館市立中央公民館	午後3時30分 第1、2研修室
2 出席委員の氏名				
	教育長職務代理人	山田 和人	委員	工藤 啓子
	委員	根田 穂美子	委員	小笠原 正卓
3 欠席委員の氏名				
4 委員以外の出席者職氏名 (なし)				
5 出席した職員の職氏名				
	教 育 長	高橋 善之	教育総務課長補佐	石田 誠樹
	教 育 次 長	成田 浩司	学校教育課長補佐	工藤 貴胤
	教 育 監	長岐 公二	学校教育課長補佐	北林 香子
	教育総務課長	小松原 功秀	生涯学習課長補佐	鈴木 明
	学校教育課長	畠沢 依子	中央公民館長	武田 吉輝
	教育研究所長	米澤 貴子	歴史文化課長補佐	加賀 至
	生涯学習課長	糸屋 みさえ	教育総務課総務係長	篠村 朋子
	歴史文化課長	小松 工		
	教育総務課長補佐	宮崎 史人		
6 会議録署名委員 教育長・小笠原委員				
7 会議書記 教育総務課 総務係長 篠村 朋子				
8 教育長報告				
(1)	比内学校給食センターのボイラー故障による給食提供の停止について			
(2)	第2回大館ふるさとキャリア教育作品コンクール審査結果について			
(3)	未来おおだてサミット子ども事業について（交流推進課事業）			
9 議 事				
協議第1号	令和4年度3月補正歳出予算要求の概要について			
10 その他				
□ 頭 大館市教職員研究実践発表会について（教育研究所）				

教育長が教育委員会会議に報告する事項

令和5年1月27日

担当課（教育総務課）

報告事項	報告内容
<p>(1) 比内学校給食センターのボイラー故障による給食提供の停止について</p>	<p>1月17日(火)午後3時過ぎ、比内学校給食センターからボイラーのエラー表示が出て水温が上がらないとの報告があり、調査したところ、ボイラーの膨張タンクが経年劣化により破損したことが原因だと判明しました。</p> <p>このため早期復旧に努めましたが、交換資材を手配し、復旧までには6日間ほど要することが確認できたため、給食を23日(月)まで停止し、各家庭へは弁当等での対応をお願いしました。</p> <p>同施設は築19年が経過しているため、これまで以上に施設の点検や検査を強化し、維持管理と警戒に努めてまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 給食提供校 比内中、扇田小、西館小、東館小 ・ 給食停止期間 1月18日(水)から23日(月)まで ・ 停止給食数 4校合計 約570食/日 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>赤いタンクが膨張タンク</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>膨張タンク破損箇所</p> </div> </div>

報告事項	報告内容																																																													
<p>(2) 第2回大館ふるさとキャリア教育作品コンクール審査結果について</p>	<p>1. 審査期日 令和5年1月5日(木) 午後2時 田代庁舎大会議室</p> <p>2. 審査の視点 (1)子どもが調べたこと、体験したことを自分の言葉や動作、絵などで表現しているか。 (2)学習・活動を振り返って、子ども自身が成長を実感しているか。</p> <p>3. 審査結果 (1) 最優秀賞</p> <table border="1" data-bbox="539 797 1399 1142"> <thead> <tr> <th>部門</th> <th>学校名</th> <th>学年</th> <th>作品の概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">小・低学年</td> <td>城西小</td> <td>2年</td> <td>学区地図</td> </tr> <tr> <td>早口小</td> <td>2年</td> <td>活動記録(壁新聞)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">小・高学年</td> <td>有浦小</td> <td>6年</td> <td>紹介ポスター</td> </tr> <tr> <td>成章小</td> <td>4年</td> <td>紹介動画</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中学校</td> <td>南中</td> <td>1～3年</td> <td>制作クレヨン</td> </tr> <tr> <td>成章中</td> <td>3年</td> <td>活動記録(冊子)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 特別賞</p> <table border="1" data-bbox="539 1193 1399 1391"> <thead> <tr> <th>部門</th> <th>学校名</th> <th>学年</th> <th>作品の概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大館商工会議所会頭賞</td> <td>西館小</td> <td>6年</td> <td>活動記録(プレゼン)</td> </tr> <tr> <td>教育長賞</td> <td>积迦内小</td> <td>6年(1)</td> <td>作文</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 優秀賞(概要) (4) 優良賞(概要)</p> <table border="1" data-bbox="539 1442 1422 1639"> <thead> <tr> <th rowspan="2">部門</th> <th colspan="2">(3) 優秀賞(概要)</th> <th colspan="2">(4) 優良賞(概要)</th> </tr> <tr> <th>学校数</th> <th>児童生徒数</th> <th>学校数</th> <th>児童生徒数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小・低学年</td> <td>2校</td> <td>35人</td> <td>4校</td> <td>232人</td> </tr> <tr> <td>小・高学年</td> <td>15校</td> <td>263人</td> <td>8校</td> <td>204人</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>11校</td> <td>35人</td> <td>4校</td> <td>15人</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">参加総数 52作品 893人</p> <p>4. 表彰式 (1) 期日 令和5年1月28日(土) 午後1時30分 中央公民館 (2) 表彰対象 審査結果に基づき、(1)(2)の受賞作品を表彰対象とする。</p>	部門	学校名	学年	作品の概要	小・低学年	城西小	2年	学区地図	早口小	2年	活動記録(壁新聞)	小・高学年	有浦小	6年	紹介ポスター	成章小	4年	紹介動画	中学校	南中	1～3年	制作クレヨン	成章中	3年	活動記録(冊子)	部門	学校名	学年	作品の概要	大館商工会議所会頭賞	西館小	6年	活動記録(プレゼン)	教育長賞	积迦内小	6年(1)	作文	部門	(3) 優秀賞(概要)		(4) 優良賞(概要)		学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数	小・低学年	2校	35人	4校	232人	小・高学年	15校	263人	8校	204人	中学校	11校	35人	4校	15人
部門	学校名	学年	作品の概要																																																											
小・低学年	城西小	2年	学区地図																																																											
	早口小	2年	活動記録(壁新聞)																																																											
小・高学年	有浦小	6年	紹介ポスター																																																											
	成章小	4年	紹介動画																																																											
中学校	南中	1～3年	制作クレヨン																																																											
	成章中	3年	活動記録(冊子)																																																											
部門	学校名	学年	作品の概要																																																											
大館商工会議所会頭賞	西館小	6年	活動記録(プレゼン)																																																											
教育長賞	积迦内小	6年(1)	作文																																																											
部門	(3) 優秀賞(概要)		(4) 優良賞(概要)																																																											
	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数																																																										
小・低学年	2校	35人	4校	232人																																																										
小・高学年	15校	263人	8校	204人																																																										
中学校	11校	35人	4校	15人																																																										

報告事項	報告内容
<p>(3) 未来おおだてサミット子ども事業について (交流推進課事業)</p>	<p>○目的 日本の最先端の宇宙技術や航空施設等を視察・体験し、ふるさと大館の未来を担う「未来大館市民」の育成</p> <p>○日時 1月10日(火)～13日(金)</p> <p>○訪問先</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南種子町 種子島宇宙センター宇宙科学技術館 (大館市出身の畠山氏による講話など) 南種子町立南種子中学校 (地元中学生との交流) 南種子町役場 (表敬訪問) ・名古屋市三菱重工飛鳥工場ほか見学 ・羽田空港ANA機体整備場見学 <p>○参加者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育長、中学2年生8名、引率教諭2名、交流推進課職員、学校教育課 計15名 <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;">     </div>

議 事 の 経 過	
	開会 午後3時30分
教育長	<p>ただ今より教育委員会会議を始めます。 会議録署名委員については、私と小笠原委員にお願いします。</p> <p>会議録についていかがだったでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声あり)</p> <p>それでは、承認とさせていただきます。 では、4の教育長の報告事項をお願いします。</p>
各課長	<p>(「(1)比内学校給食センターのボイラー故障による給食提供の停止について」「(2)第2回大館ふるさとキャリア教育作品コンクール審査結果について」「(3)未来おおだてサミット子ども事業について(交流推進課事業)」を、資料により報告)</p>
教育長	<p>ご意見、ご質問はございませんか。</p>
委員	<p>大館ふるさとキャリア教育作品コンクールについてです。私も参加させていただきました。ふるさとキャリア教育の研鑽がそれぞれの学校の作品の中に見受けられました。それぞれの子どもたちの思いが伝わってくるものがあり、楽しみながらまた、希望を持ちながら拝見させていただきました。学年に応じたキャリア教育の成長の過程がよく見受けられ、いい作品を拝見することができ、有意義な時間を過ごすことができました。</p>
委員	<p>審査をさせていただきましたので、感想を申し上げます。教育長がよく「百花繚乱」という言葉をお使いになる訳ですが、私の好きな言葉に「花それぞれ、人それぞれ、それぞれに咲く」という言葉があります。今回のコンクールは、まさにその言葉にぴったりだったのではないかと思います。この中に、どれだけの子どもたちが自分たちの花を咲かせたのか、どれだけの学校が自分たちの個性をもってこの作品に当たったのか、ということが審査を通じて大変よくわかりました。そして、この中で子どもたちが非常に真摯に取り組んでいるということも理解することができて、本当にいい機会をいただいたと感じています。このようなことが、一つの形となって残ることが今後の活動の種になっていくと思いますので是非、続けられるうちはこのような形として、一年に一回残す、ということを経営してできればと思います。</p>
教育長	<p>私自身、ふるさとキャリア教育百花繚乱ということで、働きかけているのですが、実際のところ、各学校の象徴的な活動は知る機会があるのですが、そうでないところはほとんど見えないのです。それは作品を通して子どもた</p>

	<p>ちの感じ方や表現の仕方の違いを知る、私にとっての学びとなっているのです。これは、教育長賞になった釈迦内小学校6年生の作文「思いをのせて打ち上げたひまわり花火」ですが、釈迦内地域を元気にするために、ひまわり花火を打ち上げた内容です。実現すると思っていたのが、大曲から花火師の方を招いて講話をしていただいたり、FM ラジオおおだてに3回ほど出演しひまわり花火を宣伝して、大館大文字まつりで打ち上げにこぎつけたのです。このひまわり花火には、いろんな方々の思いや、願いが詰まっているのだということが分かって、これを経験したこの子が大きな自信と学びを得ているのです。このような形で、一人一人が地域の方とのつながりや、夢が実現するという体験が、ふるさとキャリア教育が狙っているキャリアになっていると実感しています。</p>
委員	<p>未来おおだてサミット事業ですが、交流推進課の事業とのことですが、いい事業をいただいたと思っています。今朝の新聞を拝見したのですが、子どもたちの素晴らしい感想に感激しました。「ワクワクや興奮を感じ、新たな自分を見た気がした」「夢の力を信じたい」等読ませていただいて、この事業の意義そのものの感想だと思いました。小、中学生の頃の体験や経験は、その子を作る一つの要因になる気がして、本当にいい経験をさせていただいたと思います。今回は代表の生徒8名ですが、未来の大館を作ることにつながることを信じたいと思います。このような事業がどのようなかわかりませんが、県外企業だけでなく、県内企業の交流もあればと思います。</p>
教育長	<p>3泊4日で種子島、名古屋、羽田でしたのでタイトな日程でしたが、通常は見ることのできない見学、体験をさせていただきました。私にとっても、大きな学びとなりました。私にとって心に残ったものが三つあります。</p> <p>一つ目は、1,300kmも離れた南の島に、大館の友人である南種子町の心温かい人たちが住んでいるということです。絆というのを感じました。</p> <p>二つ目は、宇宙開発事業に従事している大館出身者がいるという誇らしさ。種子島宇宙センターで説明をしてくれたJAXAの畠山亮介さん(釈迦内出身)、名古屋の三菱重工業で説明をしてくれた6名の大館出身の若者たち、ほかにも十数名の大館出身者がいるとのこと、750名の組織の中に大館出身者が十数名いるというのが誇らしい気持ちでした。</p> <p>三つ目は、プロフェッショナルな仕事のすごさを垣間見られたこと。万が一という言葉がありますが、万が一の一をゼロに、限りなくゼロに近づけていくという技術、探究力。プロの仕事と姿を子どもたちが見たというのは大きいと思います。</p> <p>三つ上げましたが、一番すごいのは、やはり子どもたちです。南種子町で町長さんへ表敬訪問した時、中学生が代表挨拶をしたのですが、全然ものおじもせず立派な挨拶でした。また、南種子中学校での交流は一時間ぐらいしかなかったのですが、あっという間に仲良くなって驚きました。帰りには、2年生全員が見送ってくれて、握手をしたり、頭をなでたりと、短時間にも関わらず、素晴らしい交流ができたことに、すごい力を持っているなと感じ</p>

	<p>ました。今、大館で育っている子どもたちは、H ロケットやボーイング787型と同じように最新鋭の、最先端の子どもたちなのだとすごく感じました。4日間の日程でしたが、未来を見たような気がします。昨日は、市長への報告会があり、市長は、さらにフランスやタイ王国とのかかわりに、子どもたちをどんどん登場させたいと話をしていましたので、これからもこのような機会がどんどん増えていけばいいなと思っています。</p>
委員	<p>参加者はどのように決めたのですか。</p>
教育長	<p>各中学校の子どもサミットの代表委員2名のうち1名を学校が決めた形です。この子たちが各学校に戻って報告し、全校で共有するということになります。</p>
委員	<p>未来おおだてサミットについてです。未来おおだてサミットに行った生徒の報告会が、学校であったそうですが、この事業は来年もあるのでしょうか。</p>
教育次長	<p>来年の計画は、未定です。</p>
委員	<p>教育総務課の「比内学校給食センターのボイラー故障による給食提供の停止について」お礼です。機械が故障するというのは突発的なことで、しょうがないと思うのですが、故障の発見が午後3時すぎでよかったと思いました。当日の給食の提供ができたことに、保護者の方も良かったと話しています。故障の発見の経緯を教えてください。</p>
教育総務課長	<p>食器の洗浄が一段落した段階に、お湯がぬるくなってきたため、ボイラー表示を見たところエラー表示が出ていました。すぐに、ボイラーを見に行きましたら水が漏れていたという状況です。</p> <p>見た目ではわからない故障もありますが、目視で確認できる場所は、しっかりと対応していきたいと思っておりますし、現場にもその旨伝えております。</p>
委員	<p>ボイラーの交換はしていますか。</p>
教育総務課長	<p>今回のボイラーは19年使っているものです。ほかのボイラーももっと長く使っているものもあります。交換となりますと費用もかかりますので、対処療法で進めているといった状況ですが、計画的に交換していきたいと考えています。</p>
委員	<p>部品の保有期間というのが決まっていますので、その期間を過ぎると部品を調達することができない状況が発生します。そのため、決まった間隔でリプレイスするといったようなことを予算建てしていかないと、何かあった場合の損失といえますか損害が大きくなりますよね。大変心苦しいのですが、ぜひ、予算建てを含めてご検討いただければと思います。</p>

教育長	以上で、報告を終わります。次に議事に入ります。
各課長	(「協議第1号令和4年度3月補正歳出予算要求の概要について」を資料により説明)
教育長	ご質問等ございませんか。
委員	旧大葛小学校の賃貸契約の話がありましたが、天文台の保存、維持はどのようになりますか。
教育総務課長	天文台はそのまま保存となります。使われる業者からも天文台をぜひ活用したいという話もありますので、このままの状態での保存、活用という形になります。
教育長	他にございませんか。では承認とさせていただきます。その他に入ります。
教育研究所長	(「1月6日開催の大館市教職員研究実践発表会について」口頭報告)
委員	今回も、非常に多岐にわたる内容の発表があり、先生方も聞きたい講座がたくさんあったのではないかと思います。私もいくつか見させていただきましたが、先生方の意識の高さというのが感じられました。小笠原委員も発表されていましたが、そのブースの人の多さに驚きました。学校というのは、閉じられた環境なので、学校以外の方々の話を聞きたいという関心も高いのだと思いました。このような機会は貴重だと思いますので、これからも設定していただければと思います。それから、新しいチャレンジの発表もたくさんありました。それはもちろんなのですが、今回感じたのは、若い先生方も増えてきて、日常の実践についていろいろ知りたい、もっと授業が上手になりたいといった意識の高さといったものを感じました。
委員	発表する機会をいただきましてありがとうございます。2年前、1年前は歯の話をしていたのですが、今回は、未来大館市民が期待する若手経営者たちということで人選をしたところ、一秒でやるという返事を頂いた伊藤さんに決まり、頼もしいと思いました。彼は、PTA会長もされているので、いろいろ思うところがあったところを、先生方に話すことができたということは、彼にとってもすごく良かったと思います。工藤委員にそうおっしゃっていただいて、私もうれしいです。大館の教育に期待をしている経営者はたくさんいると思いますので、そのような方々からも話をさせていただく機会を頂き、私も一経営者としてありがたいと思います。また、このような機会があればお願いしたいと思います。

教育長	<p>改めて、大館教育の多様性といいますが、学校教育の中に閉じこもらないで、市民一人一人が先生にというのが具現化されていますし、小学生まで発表していますし、大館らしさ、多様性、自由さ、これも象徴だと思います。</p>
委員	<p>小笠原委員と伊藤さんは、今の保護者が考えていることを、先生方の前で話してくれましたので、本当にいいチャンスだったし、チャレンジだったと思います。お互いにとっていい機会だったと思います。</p> <p>その中で感じていることがあります。大館ふるさとキャリア教育の根本的なところを常々考えているのですが、私たちは、社会科の勉強はしていないのです。世の中科という言い方がかつてあったのです。世の中のことについて、子どもたちが社会とのかかわりの中でいろんなチャレンジをして、失敗をして、成功体験を積み重ねていくということがきちりとしてできていることが大館ふるさとキャリア教育の根本的なところだと思うのです。それが、今回の研修会の中でしっかりと出ていましたし、そのようなことが少しずつ形づくられてきているから、先生たちの反応もよくなっていくはずなのです。私たちも、反応が良くなってきていますし、大人の反応が良くなっていくのは、結局、そこからボトムアップされてきていると思うのです。ですから、ふるさとキャリア教育が、まさしく大館の変革の力になっているのは間違いがないと思いますので、そのような意味でもこの研修会がさらにウイングを広げて、幼稚園、保育園の先生方、経営者の方々へとウイングを広げる、そして、有浦小学校の子どもたちの発表も見てきましたけれどもノースクリプトでやる訳ですね。先生方の前で、しっかりした姿で出てくるので、研修会が子どもたちの発表の機会にもっともってなっていければいいなとも思って、今回は、一つのある意味でのチャレンジであったなということで、本当にいい機会にまた挑戦してくれたなと感謝しています。</p>
委員	<p>交流会で榊先生と話したのですが、出前授業をぜひさせてほしいということをお話されていました。大館市の子どもたちは非常に理解もあるし、心も育っているので、自分の知識をぜひ、提供したいというようなことを話されていましたので、必要があれば頼んでみてはいかがでしょうか。</p> <p>下川沿中学校のICTの発表をずっと見ていたのですが、非常に順調に進んでいると感じました。タブレットの良さも話されていましたが、今後の心配もあります。最近、新聞に掲載されたタブレットの使い過ぎで近視の子が増えているという養護教諭の話や、タブレットを持ち帰る学校では、家でゲームをするといった誤った使い道が見受けられるということがあるようです。子どもたちへの指導の中にそのようなことも入れて、みてあげてほしいと思います。</p>
教育長	<p>大館はタブレットの持ち帰りは基本的には、ないという方針で当面は行きたいと思います。メリットよりデメリットが大きいと判断しています。</p>
生涯学習課長	<p>(「あきたわくわく未来ゼミ推進事業」について口頭説明)</p>

教育総務課長	<p>(「来月の開催日程」について)</p>
教育長	<p>委員の皆様から何かございませんか。</p>
委員	<p>栗盛図書館での高校生を読み聞かせについて、新聞で拝見したのですが、これはずっと続いていて素晴らしいと思います。高校生たちは、子どもたちに読み聞かせをする本を、時間をかけて選書しているのです。その本を読み聞かせている高校生と子どもたちのつながりが感じられます。読み聞かせを聞いた子どもたちが成長し、高校生になって読み聞かせをするということが続いていること、素晴らしいと思います。</p>
教育長	<p>(「コミュニティ・スクールの新聞掲載について」報告 令和5年1月25日 北鹿新聞)</p> <p>東京都市大学の教授2名が、2007年に本県で初めてコミュニティ・スクールを導入した城西小学校の視察と、それ以外の学校もすべてコミュニティ・スクールに移行するということについて、調査に来ました。</p> <p>結論としましては、城西小学校については、地域と密着した形で、しかも教育成果にも表れているというコミュニティ・スクールが15年も続いているということは、きわめて稀であるという評価でした。その成果を出しているのは、コミュニティ・スクールという形だけではなく、そのベースにふるさとキャリア教育を進めているということが、地域との一体化にきわめて有効な施策になっているということでありました。調査に来た先生は、他県の学校の話はほとんどしませんが、話の中で漏れ伝わる感じでは、コミュニティ・スクールという形は広がっているが、実質的にそれで学校が進化する例はなかなか難しいというのが、全国的な傾向のようです。だから、コミュニティ・スクールにすることが目的ではなくて、大館のように未来大館市民を育成するという手段として使うのであれば、効果が表れるということの証左だと思います。以上、ご報告させていただきます。</p>
委員	<p>いらっしゃった井上先生は、世田谷区の学校のコミュニティ・スクールを研究していて発表したことがあると聞いたことがあります。ですので、大館市のコミュニティ・スクールについて名も通っていることから、前々から関心を持たれていたのではないのでしょうか。</p>
教育長	<p>井上教授は、現在は違いますが、世田谷区の教育委員を歴任された方のようなので。今は、社会教育委員をやっているというお話でした。現在、大館市と世田谷区は教育交流をしていると、お話をしましたら、喜んでおりました。他にございませんか。</p> <p>それでは、以上を持ちまして、教育委員会会議を終了いたします。</p>
<p style="text-align: center;">会議終了時刻 午後4時40分</p>	